

わたしたちができること ~みんなで一緒に取り組もう!~

いくつできているか してみよう!

STEP 1 いきものやみどりについて知る、気づく

- 公園や緑道に行って、自然の様子を見てみよう。
- お花見やお月見など、季節の行事を楽しんでみよう。
- 絵本や図かんを読んで、身近ないきものについて調べてみよう。

STEP 2 いきものやみどりを学ぶ

- 駒場野公園の自然観察舎や中目黒公園の花とみどりの学習館に行って、いきものやみどりについて学ぼう。
- いきもの調査などのイベントに参加して、いきものやみどりに触れてみよう。
- 防災のイベントに参加して、災害のときに公園がどう使われるかを学ぼう。

STEP 3 活動する

- お花や実がなる植物を、お庭やベランダで育ててみよう。
- 東京の近くで採れた野菜や果物を食べて、旬の味を楽しもう。
- 自然通信員などに参加して、いきものを観察し、気づいたことをお友達に伝えよう。
- 学んだことをお友達や家族に話して、自然を大切に作る仲間を増やそう。

達成度チェック

- 0~3個**
身近ないきものやみどりに気づいてきたね。これからが楽しみ!
- 4~6個**
いきものやみどりに関心が出てきたかな? もう少し広く見てみよう!
- 7~9個**
いきものやみどりと関わりが深まっています! とても素晴らしい!
- 10個**
あなたはいきものやみどりを守る名人だ! 周りの人に広げていこう!

みんなが集まって活動する場所に行ってみよう!



▲駒場野公園 自然観察舎

駒場野公園 自然観察舎

自然観察舎は、公園の自然を観察したり、ボランティア活動をしたりするための、みんなが集まる場所です。
昭和61年から活動している駒場野自然クラブは、木を育てたり、自然を観察したりと、1年を通していろいろな活動をしています。
みんなにとって、自然にふれあう大切な体験になっています。

中目黒公園 花とみどりの学習館

花とみどりの学習館は、身近な自然を通じて地域の人とみどりをつなぐ場所です。
「楽田クラブ」では、お米を育てながら周りのいきものとのつながりを学び、「野あそびくらぶ」では、自然遊びをしながら植物を育てたり、公園のいきものに親しむことができます。



▲中目黒公園 花とみどりの学習館



本編はこちら

目黒区いきものみどりみらい計画 ~ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり~ 【子ども版】

令和8(2026)年6月発行

発行: 目黒区

編集: 目黒区都市整備部みどり土木政策課

東京都目黒区上目黒二丁目19番15号

電話: 03(5722)9745 (みどり土木政策課)

FAX: 03(3792)2112

印刷: 有限会社 ジンキッズ

目黒区いきものみどりみらい計画

~ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり~



シジュウカラさんを見つけられたら次のページへ



目黒区いきものみどりみらい計画

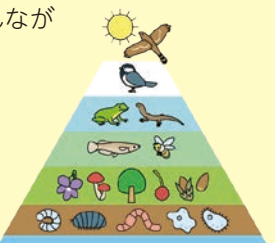
～ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり～

この計画は、「私たち」みんなの計画です！

「私たち」には、子どもから大人まで目黒区に住んでいる人、働いている人など、みんなが含まれています。「私たち」一人ひとりが計画に取り組んでいく主人公です！

みどりのつながりを象徴する「野鳥」

野鳥は、食べる食べられるといういきもの世界の中で上位にいます。野鳥が多いということは、食べ物になる虫や植物が多く、暮らしやすい場所も多いことが分かります。野鳥は、いきものとみどりの豊かさを教えてくれます。



ミッション でたどったみどりに隠された文字を順番に並べよう

ネットワーク

公園やお家の草木は、いきものが暮らす「みどり」の場所になっています。それがバラバラだと、いきものは移動ができません。そのため、道やお家に草木を植えて、みどり同士をつなげることで、移動ができるようになります。このみどりのつながりを「**エコロジカルネットワーク**」と呼びます。

「いきもの」と「みどり」のつながりを学ぼう！

めぐろの「いきもの」と「みどり」を紹介するよ



絵しりとり迷路

しりとりで目黒のみどりをたどって、シジュウカラさんとゴールを目指そう！

スタートは区の木「スダジイ」!!

表紙も見えてね!

計画で目指すこと!

将来像 (2050 ビジョン)
野の鳥の歌が聞こえる 自然と共にくらすまち

- 目標 1** みどりをまもって、いきものがくらしやすい環境をつくるよ
- 目標 2** 自然とふれあいを大切にしたら暮らしを、未来に残していくよ
- 目標 3** みんなで、「ささえあう生命の輪」を守るために、協力して取り組むよ。

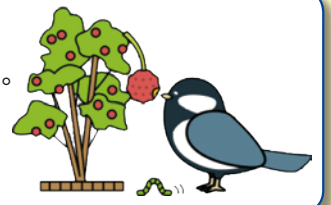
ささえあう生命の輪ってなに?

「みどり」は、いろいろな「いきもの」が暮らす大切な場所です。また、「いきもの」も種を運び、糞が肥料になるなど、「みどり」にとって大切な存在です。「いきもの」と「みどり」は、おたがいに助け合って生きています。このつながりを、「ささえあう生命の輪」と表現しました。この「ささえあう生命の輪」は「生物多様性」を言いかえた言葉でもあります。

目標達成のために取り組むこと

野鳥の見られる種類
1年の中で、目黒区で見られる野鳥の数を50種類から70種類に増やします。

緑被率
目黒区のみどりで覆われた場所を17%から20%に増やします。 など



一緒にできることはなんだろう?



ふだんの何気ない行動も、この計画の将来像や目標の実現につながっています。左の図のように「わたし」を中心に、いつもの生活を振り返ってみると、いきものやみどりのための行動が見つかるかも!?

次のページに行動のヒントが書いてあるよ